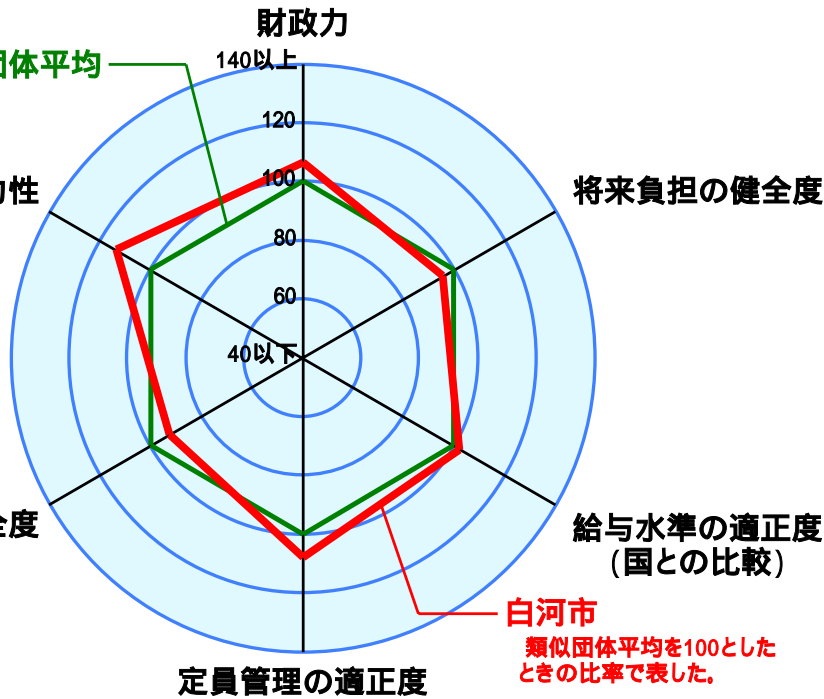


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 福島県 白河市

人口	47,536人(H17.3.31現在)
面積	117.67 km <sup>2</sup>
歳入総額	15,978,525千円
歳出総額	15,457,189千円
実質収支	486,256千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**：平成14年度以降は同じ比率で推移しており、類似団体と比較しても高い水準にある。平成17年11月7日に合併したことにより、新たな枠組みの中で早期に財政健全化のための計画を策定し、口座振替の推進や滞納者への徴収強化による税徴収率向上や、経費の節減等を図り、財政基盤の強化に努める。

**経常収支比率**：平成16年度においては、特殊勤務手当の廃止等による人件費の減や、南湖公園整備事業等の起債償還終了による公債費の減などもあり類似団体との比較では下回っている。合併後においても早期に財政健全化のための計画を策定し、義務的経費の抑制を図り、財政構造の弾力化に努める。

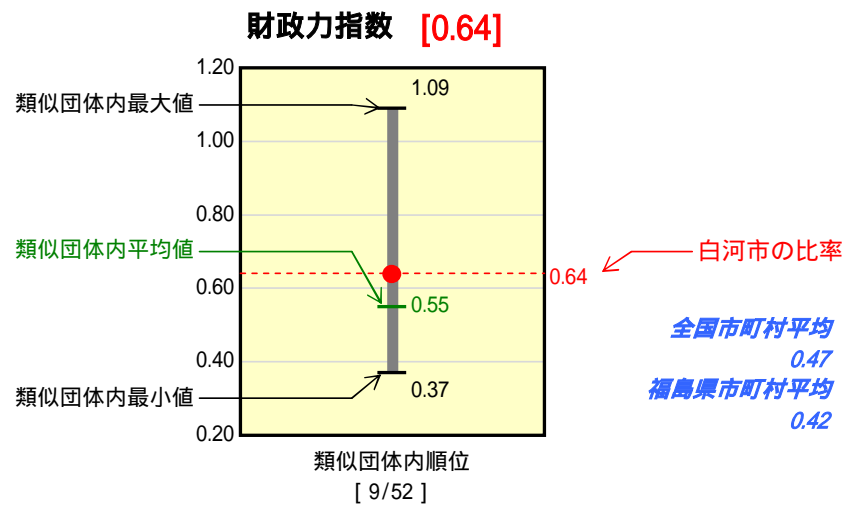
**起債制限比率**：前年度より0.1ポイント低下したものの類似団体平均を上回っている。合併後においても財政健全化のための計画を策定し、後年度負担軽減のため平成10年度以降実施している高利率の起債の借換や繰上償還を引き続き検討するとともに、新規借入の抑制に努める。

**人口1人当たり地方債現在高**：類似団体を上回っているが、地方債現在高は平成11年度以降減少しており、合併後においても財政健全化計画を策定し、長期的な視点から計画的な借入を行い、現在高の縮小に努める。

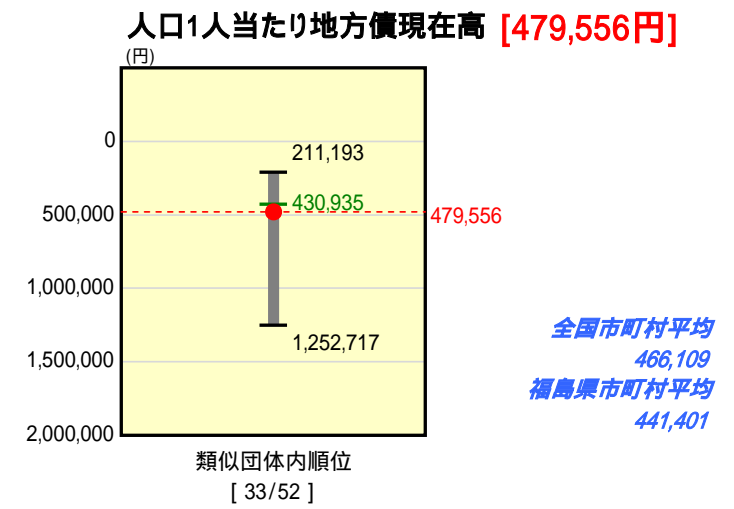
**ラスパイレス指数**：ラスパイレス指数は、給料カットは行っていないが、類似団体内平均値を0.6ポイント下回り、県内11市中8番目に低い水準となっている。なお、ラスパイレス指数には反映しないが、人件費抑制策として平成16年10月から、特殊勤務手当の全廃、管理職手当支給額の5%削減、平成17年2月から退職時の特別昇給の廃止などを行って、給与の適正化に努めている。合併後においても統一された給料表に基づき、職員間の格差是正に努めるとともに、適正な運用を図る。

**人口1,000人当たり職員数**：定員管理については、平成12年度から平成16年度までの5年間で一般行政部門で6人(1.95%)職員全体で10人(2.25%)の減員を図ることを目標としていたが、平成16年度で一般行政部門で9人、職員全体で15人減員となっており、これは類似団体平均を下回っている。平成17年11月7日合併により、新市において総務省通知に基づく定員適正化計画を策定し、今後の定員管理に取り組む。

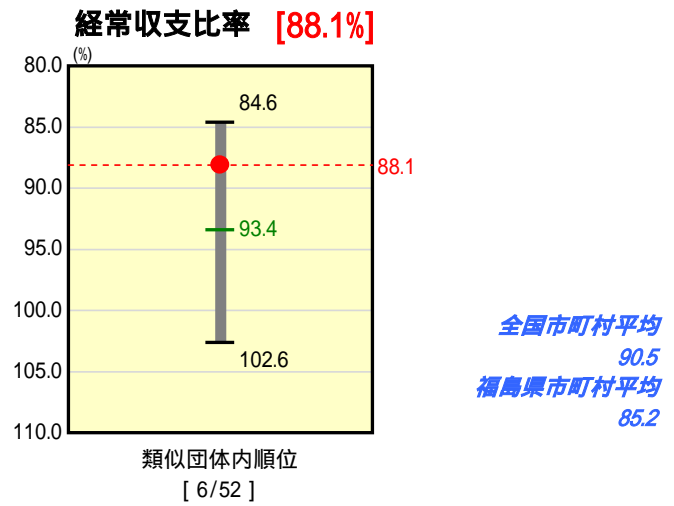
### 財政力



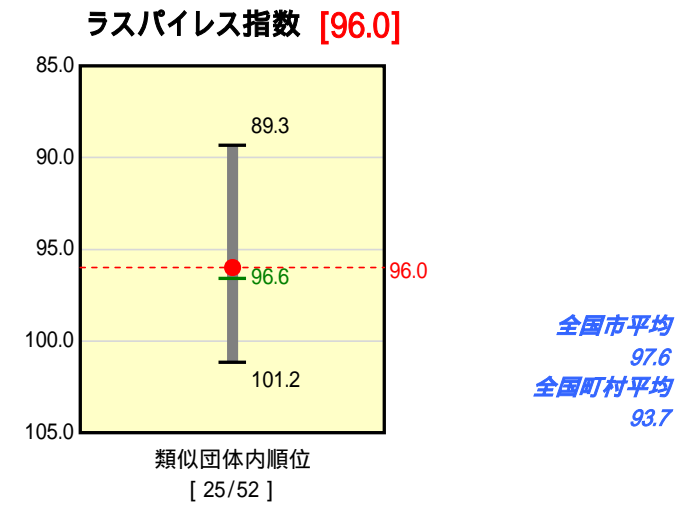
### 将来負担の健全度



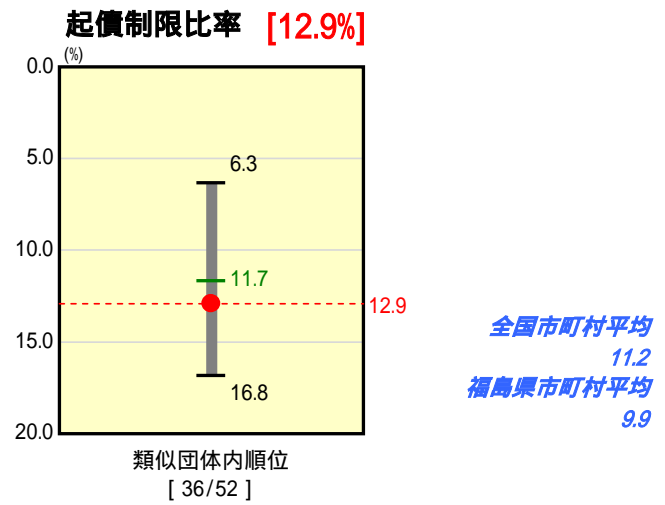
### 財政構造の弾力性



### 給与水準の適正度(国との比較)



### 公債費負担の健全度



### 定員管理の適正度

